

第 17 回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> ● 外環の 2 計画が存在することを住民に周知することについて:練馬区内においては、外環の 2 に関しては現在でもあまり周知されていない。 ● 特に練馬で行われた「話し合いの会」、当時は外環の 2 がほとんど周知されていない中で行われたので、十分な話し合いがされたとは到底思えない。 ● 沿線住民に周知しないまま、どんどん話を進めていくことは(例えば大泉 1 km 認可) 住民参画の点からいってもおかしな事である。周知する方法をもっと工夫し、何度でも説明会・意見を聴く会をするべきである。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 「外環の 2 については一旦白紙にもどすべき」という浜本氏の意見は本日の議論で大変よくわかった。 ● 広く意見を聴く会については、今日の論点の違いをふまえて具体化の議論をすべき。 ● 国が都を「指導」すべきということ、国の責任について次回の国の答弁を期待している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 広く住民の意見をきくこと ● 必要性を話し合ってからではなく、ここに至るまでの地域住民の意見(不満経過 etc) をまず聞くことから始めてほしいのです。その不満が除かれな限り、今までの国・都のやり方への不満は消えません。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 成田部長のペーパーは、論じる時期をわけるが、都市計画変が分かれるのではなく、一体で行うと言っている。このペーパーがほごにされることについて、PI 委員らは承諾したのか。最後の会議の時にも、地上部街路について話し合っていないから、打ち切るの反対という意見が出ていたはずである。整合性のない都市計画がかまわないと、都、国は考えているのか。 ● 地上部の道路がなくならないのなら、地下も反対である。 ● 地上部をつくるなら、地下にする必要性はない。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料 12-7-2 で平成 25 年 11 月版の地図では女子大通りの法政第一高校中学が移転しているのにまだ記載されている。直してほしい。 ● この会の住民への告知をもっと都がやってほしい。チラシを配るのはボランティアの方々だ！何年も配って疲れている。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐久間課長から、本来、同時解決が望ましかった外環本線と外環 2 が平成 19 年に本線先行で外環 2 が先送りされたため、外環 2 の話し合いが今日行われている旨の説明があったが、だとすれば、外環 2 の無条件廃止も選択肢の中に当然入っていなければならない。従って、“外環 2 の都市計画を無条件に廃止することはできません”という安西氏の言い分(第 15 回議事録、資料 16-1 27 ページ)は勉強不足による勝手な思い込み。無用な誤解を招かぬようこの文言は削除または訂正して貰いたい。

7	<ul style="list-style-type: none">● 本線が地下化する際の狙い①立退き減少②地域分断を避ける③沿線環境悪化を避けるなどの視点からみると、外環の2がいまだに計画として残存しているのは全くの論理矛盾である。すでに本線が事業化されている以上、外環の2は存在しえない。つまり、本線地下化の狙いをすべて否定するもの。国はこの事業を認め、外環ノ2をやめさせるのが当然。
---	---